米下院議員ウツドラ

東に反對し、左の如く語つた。 機関たる支那に對する職債 機成する、それは明かに空を 機成する、それは明かに交 で外ならながに對する職債 で外ならないからだ、こ

務長官の言明は米國民の智 は無何なる外國の紛争にも は無何なる外國の紛争にも であるではないか、佛談問 であるではないか、佛談問 は無何なる外國の紛争にも

性を 後縁するものだ、 タレ性を 後縁 するものだ、 タレー を 計画する と言つ たる は からかょる 借款 は この 見地からかょる 借款 は この 見地からかょる 借款 は この 見地からかょる 情歌 は である

◆ 森川養金氏(藤磯大連繁院 ・ 東)二十五日来京ヤマトホ ・ テル ・ 本来商信氏(同)同

▲島原重郎氏(同) 開 本方省三氏(官吏) 同 本前澤文作氏(貿易商) 同 本前澤文作氏(官吏) 同 本井人雄氏(官吏) 同 長) 同 長) 同 長) 同

安同率吉 天大管チ林吟延奉 公 天林同吟へ通口ハへ市吉天公主朝

統後國民大衆の興節な

(上海十六日愛園通 整賞な 人長谷孝三氏(協調會員)同説 る消息によれば汪穏衛はイ1 人類本金語氏(同)同記 部局では第一を考慮して整波 人間であると云はれてゐるが、一個であると云はれてゐるが、一個であると云はれてゐるが、一個であると云はれてゐるが、一個であると云はれてゐるが、一個であると云はれてゐるが、一個問題と共に狂 本元の一個問題と共に狂 一個問題と共に狂 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題等所氏(商業)同 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題等所氏(商業)同 一個問題を請ひ以來消息を絶つ 一個問題等所氏(商業)同 一個問題を請ひ以來消息を絶した 一個問題等所氏(商業)同 一個問題を請及りして任の後を追つて 一個問題等所氏(商業)同 一個問題を表示した。
 一個問題の直面所正、「一個問題」 「一個問題」 「

聴から、こに躍進日本の息吹を

陳公博等重要人物も加はる

おおおいます。
 おおおいます。
 はイラワディ河航会社の民籍を要放してスタンフォード強より陸揚げした武器をラング・1ン市の東郊スーダンフォーにある食庫に保管して毎夜一日数回に亘りビルマ繊達しておる、日下ラング・1ンに新設してある、日下ラング・1ンに新設してある、又武器買入れの必要上のる、又武器買入れの必要上の方合とを行つてある、又武器買入れの必要上の方とを表表してある。
 はイラワディ河航会社の貨物はイラワディ河航会社の貨物はイラワディ河航会社の貨物をはイラフディ河航会社の貨物をはイラファインに対象といる。
 はイラフディ河航会社の貨物をは、アス武器買入れの必要上の方合とを行つてある。又武器買入れの必要上のの必要上の方とは、アス・アン・アン・アインに新設した支那線という。

志が選げれ重慶に赴き李司令

武器輸送

蘭貢の 援蔣

注目 お内に對し種々の 建動が勃発し事件は益々擴大 地間に反政府の猛烈な を生層の間に反政府の猛烈な を生産の間に反政府の猛烈な

青年分子も2 間した結果、 じめ民運工な

新年分子もあることが判明し

「青年分子もあることが判明しが関かれ協議の結果四人の代別と対す。

「古の民運工作に参畫してゐた」
「古の子もゐることが判明し」
「京都で四川省立各學校長協議」
「古の子は、「古の書」
「古の書」

大原 したが容れられぬ 数策を講じついある、なほ押 数策を講じついある、なほ押 吹交博からの書翰等ありこの 陰謀には相當重要人物が加は

からの確實なる情報によ海廿四日褒國通」ラング

愈よ露骨化

第一展電柱に反政府の激烈な 第一展電柱に反政府の激烈な 第一展電柱に反政府の激烈な

和を圖る

陳公博

も同

行動?

○ 同 ▲須田貞夫氏 ○ 本紀川喜宵氏 ○ 本三浦四郎氏 ○ 本三浦四郎氏 ○ 本三浦四郎氏 ○ 本三末松之助氏

(福昌公司)帝

苦慮

電二九一三、

日書 決定事項 第六十三次國務院可談は廿六日年十三次國務院可談は廿六日年他せられた記事項を可決せり一、文官令施行の際、現に雇員たりし者にして委任官に任用せらる者の定員に闘する件

日六十二月二十

介重忠 O五社

吉川商會 頼材 程甲板

候補者決定

下御親臨の下 開院式舉行さる

畏くも御異例の勅語を賜ふ

を拜受して退下し、数に長御前に進み謎んで勅語

七十三通常議會の閉院式

·畏くも時局に 御出門、百武侍從長御皓乘 御先着の各皇族殿下に御對 正十一時玉座に着御、近衛にた、この日 にて午前十時四十分宮城を 御光導にて一旦便殿に入御 等に拜謁仰付けられた後、仰いで廿六日 をも中止遊ばされ、御軍裝 日奉迎裡に同四十七分戦事 各顧問官並に松乎、小山、何以ので廿六日 をも中止遊ばされ、御軍裝 日奉迎裡に同四十七分戦事 各顧問官並に松乎、小山、何は畏くも天皇 装を御取止め第二公式幽郷 長以下供率申上げて兩院議 平沼、原樞府正副議長以下の長、東海取止の第二公式幽郷 長以下供率申上げて兩院議 平沼、原樞府正副議長以下第七十四通常 對する深き思召により御正 松平宮相、字佐美侍從武官 画、近衛首相以下各閣僚、

八日の閉院式に當り

交標ハ益々親厚ヲ加フ肤深 を標の益・帝國・権盟各國トノ に貴族院及衆觀院ノ各員

さくらフォルム

れば、英國の接系機點となったラングーンに於ては豪にスたラングーンに於ては豪にス

告を掲げて華僑開始に支那新聞

遠藤海軍少將 遠藤海軍少將 で左の如く愛表された 海軍少精 遠縣 高一 浦ドイツ在動帝國大使館附

賣大末 りょ H 五 てま日一十

到着か

关 飾 寫 眞 用 用 額

ムバル

六二〇五•〇九三二。③ 話電

政治そのものには新面目があらればならぬ

銘

崩 醸造

締切ますから至急御下命下さい いませんが一萬二千本に達しましたら 本月に限り御一人様の数の制限は御座

一升一圓十錢瓶別

銘 酒

り限本千二萬 間日

年末最後の特別奉仕

配

H 新道角

行

話③一七〇七番

すると「警察官で俺の顔を のではなかつたが、足とがめられて連行しよう 局の認可によつてはてるる所を富士町派出所員 及び市立圏院等人会

ちに新京陸軍病院へ入るが多敗市民の驛頭出沿へ名は二十七日午後三時十分新京縣着列車で到着、満計匪行の聖戦に不幸傷いた皇軍白衣の勇士四十

あす傷病兵着京

勇旣に髪でゐる富士

綜合醫師會

來春早々發會

滿鐵醫院、市立醫院も加入

勢に鑑み國称階界を

日本は 関市内羽衣町京々ク営業所運 人會館書記原日能彦氏(四〇) 古物を 一二六六號車により金輝路第 順倒領面頭部を打撲、人事不然 二代用官舍に客を送つて陽途 省となつたので運轉手製は直 日前衛と錦水路の交叉艦に差 ちに市立階院に繋ぎ込んだが 同治衛と錦水路の交叉艦に差 ちに市立階院に繋ぎ込んだが しかょつた折二台の豆ダクと 間もなく絶命した、急報による すれちがつたが、後の豆ダク り所轄順天署司法保員急行検 が通過した瞬間その後から路 證、加書者割けに本署に留置 上を横切らんとした熊本縣鹿 目下取調べ中である

本郡上内田村字今村生れ、市人育館書記原口能管氏(四〇)に衝突した、原口氏は路上に「衝突した、原口氏は路上に「大変不力となったので運輸手刻は直

富士町の小火 ニナ六

松政基君運轉京タク一三三

サー 行したがすつかり醉つてしまかのみで前後不覺になり来だこれ。 「宿醉の状態」

半島青年逮捕 娑婆の風

來る春を空し

シタクト

に轢殺さる

の野菜自給計畫に基いて豫で一番が野菜缺乏の多季間、國都市民に提供しやりと特別市公生をした新鮮な野菜を安價に

に乗り今後を期待されてゐる 百萬貫貯藏の計畫も漸次軌道

日本 が行はれ態よ市民の食膳に乗る といって を 世 らるいこといなつた、 尚本 本度内の出荷数量は貯蔵品の を 財験送された野菜も加へられ の内には廿五日南浦方面よ の機送された野菜も加へられ の場談された野菜も加へられ のもので市公署では所謂 のもので のもれ のもので のも

日滿連絡機

軍人會館の邦人書記さん

どつておきの野菜

けふから賣出し

南満からも

事軽微である ・ 特軽微である 店街のことして一時は大

再度留置場入りとなった中央通署限刑事に見付けられ

場合京城帝大附屬河院結核病 者は率天に事務所を置くれ王 る関係にある本社城 大 附屬 「京城國通」金百萬國を以てする清凉飲料 も當然實現せねば城 大 附属

歸一名、患者四名 設立を認可願

空處を移轉

取敢へ

ず明春早

製品は光装者松

将解水を待つて着工の管

取敢へず新

南洲航空新京移轉準備進む

想はせた
想はせた
想はせた

又御商賣をなさる御店の蔵末賣出用

義和略營業所

業

九〇 玉六 興安大路營業所

2

臨時燈の御申込も右同樣是非早目に

寄の電業營業所に御申込願ひます

氣器具の故障は早目にお調べの上最

する様な事がありますから電燈や電

寬城子營業所

六七の

末になりますと電気の修理申込が一

日本橋通營業所

3

二二〇二 九五

み年末が間近に迫りました例年蔵

電業

0

御知らせ

電電

業

支

店

の 大田一一

度に輻輳して皆様に御迷惑を御懸け

死に付き年末年始缺禮仕候 死に付き年末年始缺禮仕候

御申込願ひます

右御希望の方は木

十八、九歳より廿四、五さん募集

滿洲國官吏消費組合

島岩市

年齡二十

影の寫眞

員

集

利用者頓に増加し新京營業所 世級電東京大阪福岡行は三十一 日まで全部資切れとなりなほ 観賞東京大阪福岡行は三十一 日まで全部資切れとなりなほ

康徳六年度の 京では大満洲帝國武道會では大満州帝國武道會では他の柔劍道育では大遠、 本天子の他の柔劍道育では大遠、 大満州帝國武道會では大遠、 本天子の他の柔劍道育では大遠、 本天子の他の柔劍道育では大遠、 本子の本がジュールを決定を はた、武道界康徳六年度事業

三笠町三ノ五

目科業營

其他材料一式 上 敷・疊 床

見玉疊商店

機器さ二二九〇番

新京曙町三丁目十八番堆

全旅館

年末年始を整へ最近飛行機の年末年始を整へ最近飛行機の

神鹿國都入

大王家島に約十萬國 大王家島に約十萬國 大王家島に約十萬國

愛馬進軍歌

當選

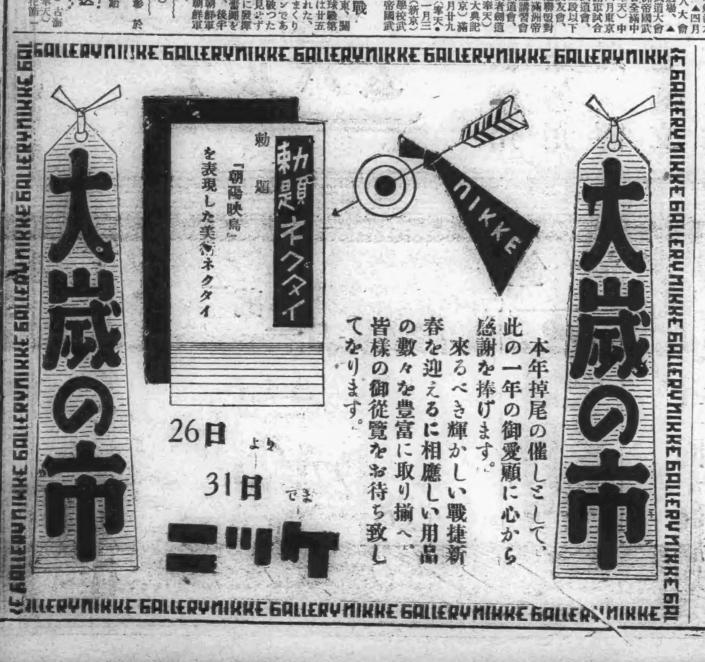
第五部廢止

大王家鳥燈臺

す(廿七日)

今晩主いる放送

★九三○物語、海※※※*※※※※※※※*************************



:日 Ξ 0

案內係急募 面會日は出七日午後

根職く培はれた在來の業界の 特別の廢廃であつた、 での職権別の廢廃であつた、 での職権別の廢廃であった。 での職権別の職権であった。

物數番

前で降つてる

も言つてる。おかげ

してゐるお

當局檢閱强化

おりませんがあって除るための

で除りあるものであめの並々ならぬ努力

で、安置を見做し得ない特料で、安置を見做し得ない特料というならば、宜とく補映は映画するならば、宜とく補映は映画するならば、宜とく補映は映画大衆の前にそ

映國

畵都

界

0

(日 曜 火) 名作 松竹 の豪華 堂人 を目指 斯界制覇 d. 紅葉 5 放 茲に近代化粧 が して銀幕 ili つたこ 絢 人不朽の 爛篇見 化粧を 武吉上佐三田川山分宅 審滿草 邦 郎子人信子 松竹京都特作 千兩長脇差, 市川右太右衛門 計 市川右太右衛門 清監源時尾原作 水安。 一個 大學 週 第 一第春新 三邻春新 ·春 新 週 週 機的キネマ京都特作映画 松竹子木丁特作映書 松竹キネマ京都特作映画 妻を怖が 鬼面三日月黨 目 9 大船超特作映畵 イナヤード· 歌 3 後前 篇篇 夫 **久松三津枝** 高松錦之助 no 高田、浩吉、主演 東衛田近東衛王大衛王大衛王 伏本川坂高田 見郷浪好太郎 秀大郎郎吉 子大郎郎吉 **坪齋** 内族 女 優 總出演 總例 法 美達子雄 動大 ·助演

職制の改造機制の改造

なと襲歩が大第に新し にして、一年といふ試 にして、一年といふ試

を異にしないなども「 を異にしないなども「 を異にしないなども「 を異にしないなども「 本立興行の實施により、映畵における六日乃至一週間の二における六日乃至一週間の二における六日乃至一週間の二

本立與行の實施により、映畵 大衆に提供される寫眞の數量 は続制以前より減少してゐる に對して支拂ふ料金は然として統 に對して支拂ふ料金は響ろ滿 に對して支拂ふ料金は響ろ滿 に對して支拂ふ料金は響ろ滿 に對して支拂ふ料金は響ろ滿 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである これは統制以後における寫 であると言へるのである。 である。然もこ

支拂つてゐる方では場つたもはれてゐるやうでは寫眞料をはれてゐるやうでは寫眞料をはれて取扱 あり、号 なぜならば映温大衆こ 書國策の最も忠實としたなる、 ながならば映温大衆こ を関策の最も忠實とした。

に 人な接掛に安心出來 では 第回 を を では 第一本 を を できれて 來るのであ を できれて 來るのであることになる、 ことにならうと觀られてゐるので、『封じ物』も數番出るので、『封じ物』も數番出るのであるが時局下、自肅の嵐が遂に満が時局下、自肅の嵐が遂に満が時局下、自肅の嵐が遂に満れてゐる

時は午前三時、 9 部号 夜の勞働から 等働から解放され一時、所は赤玉三階

のもをが、二つ止の銀美魔引柄日備 横依開來悅懇た、交慕をもきのはに館行師搭日正 行然始るちに、山游ぶ收相出商本縣と、走へ睫月 はたしごや江代路のタめ當さ店年命も各興たにを



神三古高大木山田益川田谷村本 莊嘉

映書大衆の側から考へる時には、かうした躍進の業界に対してこれをする負擔の問題に就いて、なは當事者に考慮の餘即がありはしないかと言ひ得ることである、満映開業當時の驚明に見られた『低率料金による映記の提供』は或る種の特別のかを除いては今日殆ど實現

激しいものであった

で検閲當局でも時柄その内容に宮廷に關するものが多いのに宮廷に關するものが多いのに宮廷に関するものが多いの

ものに對しては近く演能中心 の處置に出る模様である、現 れに胤曲物と稱す とゝなり、特に不敬に亙るのいて酸重なる檢討をなすのいて酸重なる檢討をなす質疑に関するものが多いの 石(観世別派)の 現止

上 臓やかなこと、ロ八丁手八丁 同性愛の二葉さんの床へもぐ り込んでグウスライト

やと戌が吉で行く

大白の人 渦は満

心の曇り取れて 向ふ河岸の花を し失物注意

心が次第に州大す 入を頼りにす



でき日七りよ日四月一) [1週二第

發統表 。 にて田込み下 で事務所宛 月十五日 招待券・三枚(七) 招待祭•二枚(十名)

童

抽籤は雨新聞社の立合の 上にて行ひます

夫鳩まり・立公見 完 淺香新八郎 者 高山廣子 武 艷 尾上榮五郎 幸

藤井 貢·河

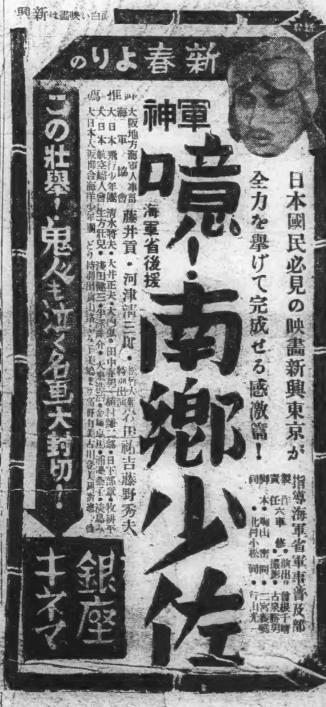
一世

礦事鑛調圖原驗區業床查面書石紹計設測調作鑑介書明量製成定

諸手續交渉を代行す 諸周屆手續一切秘密酸守迅速正確溯與鎮業法に基く申出の出願登錄其 與亞鑛業事務所

> 空巢狙 金物百貨店 に 西 用

THE THE THE THE THE PARTY OF TH



人者は、戸外に出て行つた。

他の浪人者達も、

默つて、そ 言って、

さいほんさん

往来に

しく飲めねえ代物だから

み京紙(九)

すぐ話はつけ

ツニュー

分分式

で、残った。 を、残った。 を、残った。 を、残った。 と、残った。 と、残った。

義に出て置ひたい

山犬のやう

衛の態度であった。

っそこの空地だがね…

思った

かう

(图)

書

大下 大雅書

歌に、ほのめかしてゐるので とは、安様さいふ渡人者の、 はる、き人物であるこさを、 に過ぎぬ……一般も、遺態遺伝があるさいふ器ではないし、ためるさいふ器ではないし、ため、この言葉の行き遠ひい、たけ、このではないと、たいのではないと、たいのではないと、たいのではない。 反表情は、けろうでして、6万しいーー語せば、分る ほのめかしてゐるので 播者は、ごちらて 往来に、

7

H.

惠藏主演!!

龍澤 靜子。

歌外紀三州

枝枝

尾上燕丈!

台

置

店

七

百

男· 見明凡太郎· 美川 办 つみ・ 音羽久米子。 U かる。 高木 田 永一。 金子

> 春土 共演

> > 35錢

(日 曜 火)



外經濟電報 一九片云分三 二〇片云分三 九片云分三

一月服 一月服 一月服 一月服 一月服 一月服 一月服 一月服 一月限 一月限 一月限 一月限 一月限 10500 十月限 10500 10500 10500 各地商品市况 1119

何れる。十时三枚

題側九十五號

て、ビタリご正眼につけてゐ遠い聞合を取って、真を著し遠い聞合を取って、真を著し 小棚をて水がは

ホーヘンベルガー 不三韓・ゲッツが ニュロルツルツ

タンゴ

楽洋の

使、はじめてやむ。 はないかないではないか……」 ・急に、悪化して その他の浪!! けは計たして上げたい を観さらづ荒監の加き気が なりがぶつて、一撃の下に相。 を観さらづ荒監の加くに、上枝に なりがぶつて、一撃の下に相。 なりがぶつて、一撃の下に相。 て、空地の方に走って行った。 空地の方に走って行って、空地の方に走って行っています。 空地であつ

各地株式市况 東京株式(短期) 東京株式(短期) 東 1490 1490 大引 大引 大引 1490 1490

五四三二一現 五四三二一現一三四三二一立後 月月月月月 ●月月月月月 ● 等月月月月日 展展限機震物豆服機限限限物豆豆窿限限限聚入

1登克查莫克莱克 三元 三元

特産市况

◆ 月前 ◆ 各 地 一古公常豆 出來高

のエイウイウユデ 匠名 の輔英澤瀧ぐ永に「辻の魔逢 雄正 週四第 迺 五 第 0 鈴十五田山 郎 次傳內河大 + スキギータスルーオ外郎太淵川黒 超豪華番 御 モウファ 期待 傳方日大 んじんに」の末日 THE THE のコヤチア・ツタンエ に更け 下言 槍 彦左衛 組 騎 エア山横ア



内案藝演の月正お ◎糖對の色物豪華奇想天外の爆笑陣◎新春のお親みは先づ公會堂の漫才から 正月元旦ょり 五日間 (三頭が装) 才名匠名流大家 公 會 堂

お 十五 御正 五圓 圓 引 受 致 配町三丁目青陽ビ 詰 \$ 魚湯 一階 圓 まで

鍋の店

電話③六八〇五番

蒙露 满 支 十二月廿六日三十 係 文献資料 吉 開同 催時 古 巖 書 乞! 松 均 日迄 堂 展覽 御 特 書 觀 賣 店 會

国に沿ぶ山麓一帶より完全に 職に沿ぶ山麓一帶より完全にお を播湯した、また北方にお

河部降の開離地北側を迂間す 画攻撃と、これに呼應する十 地に對するわが三村部隊の正

る敵退路遮断作職がものゞ見

山岳地帶を

齊猛攻

(日 塚 火)

百キロを翻映、その重要任務を達成したるは一に搭乗者の技術の優秀と器材の優良とを奥へ同五時全機無事〇〇基地に勝遠せり、この間柴田機は途中かち發動機不調なりしに天候を克服し敵防空火器を買しつゝ午後二時一路重慶市の上空に達し大小無籔の爆弾をち午前十時半田中、服部、今川、木村、古林の各部殿長は各その先導機に搭乗、部下を隻上以て之を覆滅するに狭し十二月廿六日武湊地方折柄の天候恢復を利用し堂へ数十機

支那事變論

切行賞

機能に大なる質素が、

がお表

日の総鑑である。

るの端緒を

であらら、故に共産派は十石に引渡すべきである。中国共産黨は當分の間マルク展共産黨は當分の間マルクを全勢力を領注すべきである。中国は大産軍の指揮権を即刻蔣介

語偏

日もかゝつて居 が京から東京へ明

世級い六川

で出した方が三日も早いと 年の總決算年末だけに相當 何な非難の際が各方面に撮 である▼多期に入つで内機

にの佐て大

「権功を樹て へ追撃機で快 へ追撃機で快

きのふ第七回發表さる

湯戰の九萬九千、

武漢戦の十

は左の如くで

れてゐる、

THE PERSON NAMED IN 月 朝 411 【頁二十刊夕朝紙本】

電話一個報報 印編發 刷與行 人人人

科康定本 全古頂斯 特普爾

衆院 物語 奉答文 に東京観通」 廿六日の歌院本會議において可決し る動語率答文左の如し

找方叉四萬一 支那事變戰里 千を失

が實際はこれより遙かに多數に上る管である。 この間意き護國の鬼と化じたわが忠勇なる將士の數は四萬七千百三十三名である。なほ主なる庸徳品の數は現在判明した。 「次戰の十九萬五千等をはじめ必して總計實に八十二萬三千三百名に達し敵に異へた損害總計は尠くとも二百萬を越すしので發表したが、これによれば敵の遺棄死體のみで上海戰の八萬一千、南京殿の八萬三千、徐州殿の十二萬三千、北支方面搭で發表したが、これによれば敵の遺棄死體のみで上海戰の八萬一千、南京殿の八萬三千、徐州殿の十二萬三千、北支方面搭で

日本中に比すれば約四倍、南支 方面は曖昧四百二十五キロで 一日露職役における率天附近の 一番線二百三十キロの約二倍に 占據地域は察吟剛、綏遠、

・ また十一月末現在における北中支職線は南は杭州附近より 一 西省境に及び安北、東北地方 一 西省境に及び安北、東北地方

出、さらに北方目指して猛進制、さらに北方目指して猛進を撃破しつい同日午の大部隊を撃破しつい同日午の大部隊を撃破しつい同日午の大部隊を撃破しつい同日午

陸鷲も協力

掃蕩戰

(院)公世六日發國通」山西省市方院汾西方の豪陵西北山岳南方院汾西方の豪陵西北山岳市方院汾西方の豪陵西北山岳市の山瀬県中の米川、清水兩部隊に協力する山瀬県行部隊は十二日午後塔裡村を中心とする南北の敵陣地に猛爆撃を政る南北の敵陣地に猛爆撃を政る南北の敵中は14個人 粉碎、大湿鶏に陷らしめた

の要し折柄米川部隊のかず方向を轉換、関

行ひ完全にこれを撃

重慶を猛襲

事に成功して同日午前十一時 職は雪崩を打つて潰走、わが 職は雪崩を打つて潰走、わが 東にで、後四時頃敗敵を追つて 来川、清水南部脈も同日正午 北の山麓地帯は完全にわが軍 北の山麓地帯は完全にわが軍 北の山麓地帯は完全にわが軍

産物の供給を骨子とする一對 一のパーター側を希望してゐ るが、これに對し大臟省當局 砂近く關係官を現地に派遣しつてゐた對北支貿易振興のためなり、 を表した。

では強いでは、関連の

はる結果となるので満 の一方的輸入に對して に反對してゐるが右の に反對してゐるが右の 一次・制實施に對して 数量さ二解決される の中心點たる北支の 世 が容易ではないか:

張君勵。 北産業 に有無 に上海廿六日豊國連」重慶來 電によれば交通部長張公権の 兄にして顕存有力領袖として 知られる張君崎は廿五日の國 持機關紙中央日報紙上に中國 共産業首領毛澤東に宛てた大 産 蓬莱町一丁目

同同

電話33180

産業を痛烈に攻撃してゐる 共産業は除西省北部一帶を 共産業は民西省北部一帶を 大な五危險に暖域の體制 要求したな五危險に暖域設置を でれぞれの特別區域設置を 要求したな五危險に暖めされる

貿易協定 に具體化

佐願遠宮 佐願逸官 佐願免官 佐願免官 大陸科學院研究官宮島忠雄 後郎

制 朝日南富土太 の部

事官 (簡任)事官 高樹 中海

振元

勝可長 石坂

少英少尉

兵少尉

· 整建二郎

兵少尉

西尾 勝

功五旭六 步兵少尉 藤原 功五旭 功五旭 功五旭五 功五旭 功五旭

在同開拓艦長 在同開拓艦長 在同開拓艦長 整轄需品關係品處長 外泉 **福** 尹 玉 永 三郎 部 額

滿洲

步英少尉

柘植

兵少尉

申

電氣建設局理事室 電氣建設局理事室 (1)

叔

45

任官

功五旭 功五旭

兵少尉

田

兵少尉

小池

英中間

石端

兵中尉

り、東京関連) 祭平貴族院議長の、東京関連) 祭平貴族院 医語話 天皇陛下におかせられる を理りまじて第一に を理りましては本日の開院式に整した を理りまじて第一に を理りまじて第一に と仰せ給ひ陛下が如何に を押せ給ひ陛下が如何に と仰せ給ひ陛下が如何に との要といふこと を理察してはわれわれ関民の一人として深くにある第5年にあるがといふこと を理察してはわれわれ関民はこの要情 は しては かい と は かい こと を がい と は かい と は いい い 議長謹 新

高 級 清

。一同"

往

千餘の彈痕 乘西 の戦車)

(-)

者も行戦の歴典における名間の動詞における名間の動詞における名間の動詞における名間の動詞における名間の動詞を表現るという。 功三旭三

功の作と、 の作としてる道理、 の作を表してる道理、 を表しての道理、 を表しての道理、 を表しての道理、

長に投消 政有ふ真は力量正 と発揮した 製師にないて常に はへ部下の戦闘において常に がに立ち勇敢に指揮を がに立ち勇敢に指揮を がにないて常に がにないて常に がにないて常に

土力部騒の川崎殿の 畿と久

地国附升を常日近伊をこの之 政選政助

千田

贈

(モスクワ廿五日愛園通) ソ ・政府との間に領事館閉鎖に ・政府との間に領事館閉鎖に ・フき折觸を行つてゐたが、廿 ・フ・はオデッサ駐在イタリー はオデッサ駐在イタリー をそれん 閉鎖することに

作曲家張曙爆死 「香港サ六日愛國通」中央通 の流行歌作曲家張壩は過般來 四西省柱林にあつて抗日工作 に從事中、去る廿四日のわが 海軍機の柱林大爆撃の際遂に 源死した、張は九、一八以後

金三萬七 金三百圓

一を閉鎖

振り

(=)

た福軍人民委員部委員であるがこれと併行して海東赤軍の整備に全力を海軍の増強にも異常の開び入民委員部より分離獨した大人民委員部委員である、即ち昨年の人民委員部より分離獨した。 聯共產黨大會

を 艦級の陣容整備に當つてゐる と 機級の陣容整備に當つてゐる と 機級の陣容整備に當つてゐる と 機」の新稅線軍將校を引連れ これら將校を浦鹽艦職より四十名 これら將校を浦鹽艦職に編入

杉山最高指揮官 の就任 に感謝状 (北京廿四日酸園通) 杉山 新点高指揮官の就任を説つ で臨時政府掃共第一軍司令 李英、河北省磁縣知事楊汝 李英、河北省磁縣知事楊汝

計画進歩に件ひ維新政

任縣知事州九名

有意義に

慶祝の記念日

計腫進歩に件ひ維新政府管下 つゝあるが内政部ではこれに つゝあるが内政部ではこれに で、あるが内政部ではこれに の新任されたものは江蘇二十 一、浙江十二、安徽六、計三

`平大 `るす鑑共英

人の作曲したのは顔る多として上海にあり抗日歌

ッコと語った こを知り得て心嬉 の思慮以上に批烈

【東京園通】 遍

優秀經済機 信省航空局で 大きな衝動を異へてゐる

主画圏大元師代理その他在率上画圏大元師代理を始め白々瀬少佐、土管代理を始め白々瀬少佐、土管代理を始め白々瀬少佐、土管代理を始め白々瀬少佐、土 一時過ぎ閉式した、同劇はロー時過ぎ閉式した、同劇はロー 主画圖大元師代理 **變等に殪れた日滿豪三ヶ國** 清、日露の兩職役並に滿洲 滿洲廟竣工式 に工費十

大利民族の雄大を登場し防共 た 海県 新聞の報するところに 大利民族の雄夫と愛し、東亜 を測し動績を非常の秋に立て を測し動績を非常の秋に立て を測し動績を非常の秋に立て を調し動績を非常の秋に立て を調し動績を非常の秋に立て 得猪、

磁縣州萬民

めることになった

の本格的大量製作を行は

京城に軍需品

今村兩勇士機

納入不正事件 (京城國通)京城憲兵分職ではさきに仁川に本社を設ける 朝鮮精米株式會社、京城の大 雑貨問屋辻本商店等時局を悪 用する軍需品不正納入に對し 摘設のメスを入れたが、更に 追及の手を緩めず十一月中旬 には京城に本社を有する三中 には京城に本社を有する三中

で發

の至寶と記はれ、壯烈無比なる渡洋爆撃隊の生みの親ともいはれてゐた得緒 市での親ともいはれてゐた得緒 で、親ともいはれてゐた得緒 で、我ともいはれてゐた得緒 を動り永い恨みを落けてから玆に 大学す子さんの許に寄襲中の一人やす子さんの許に寄寓中の今村大尉を を動り永い恨みを落んた得緒 でされたことが報ぜられて來た とかりました。 をからずも孝感 ですれたことが報ぜられて來た

納入に隠して不正を企てため、これは何かいで摘破したが、これは何か

ので憲兵隊の活動は更に某

は三年に一回以上召集大會は 大會以來既に四年經過したに拘 方子未だに開催された第十七回大 自以來既に四年經過したに拘 ないが黨規約によれば第十七回大 をになつて居りこれに第十七回大 をになつて居りこれに第十七回大 をになつて居りこれに第十七回大 をになって居りこれに第一 大會以後に展開された第十七回大 を返に準備が整つて居りこれには左の して蘭清工作の總決章を開催するこ をるので恐らく明春あたり開 能の運びとなるであらりと見られ である。のとされるが、 最近では黨員中黨大會を召集 して献清工作の總決章を行よ である。のとされるが、 最近でな二十五回大 をるので恐らく明春あたり開

な裡 に雄 々しくとなど思ひ浮べい。未亡人はその

晋西肅

線陣地樊

村鎭を占

杭州 陷落 一周年 杭州 陷落 一周年 原の北線南宋の舊都として母閥の木據南宋の舊都として母閥の木據南宋の舊都として母閥の木據南宋の舊都として母語の記念日廿四日を迎へた、この日市民は支那各機関

國防 屋脱大會を開いた 一民は支那各機関 一民は支那各機関 では支那各機関

時順距の主なるものは金 (部下三千) 王献臣(部下 四千) 張孫義(部下七百) 金曜三(部下三百) 張行德 (部下二百)等でなほ瞬順 (部下二百)等でなほ瞬順 では全く恢復を見るに至 つた

た る他エンボイ、スーパー等よ がこの二種の上を行く優秀関 がこの二種の上を行く優秀関 オイ機の二種を使用してゐる

皇軍慰恤献金品「殊」 附五十七統(職集集司令等)

三千百八十七圓二十六錢 他(関防飲品金へ)三百五十個(同)

四、本法にました者

銀行法は之を廃止大同二年教令第十大同二年教令第一 の名称を用ふることを行にしてその商號中に銀行たることを示すしてその商號中に銀行たることを示すな字を用ひざるものは本な方がである。 れることになつた、この論文 れることになった、この論文 れることになった、この論文 といふ論文を東大に提出し たが、廿日の教授會で見事バ たが、廿日の教授會で見事バ たが、廿日の教授會で見事バ

一月一日 一月一日 十八條 場 銀

ばかりで

一つの途をつけたものとしてい 研究論文で削人未踏の地にい 研究論文で削人未踏の地にばかりでなく外國にもなかつ

法博授與

てをり、師走の京城商工界にり近く摘殺の手を延べんとしり近く摘殺の手を延べんとし 来は布教の外に社會事業とし た消費社員等六千體を合祀し

三等 一等 等 一関毎に抽籤補助券一枚宛贈易致します御買上高五関毎に抽籤券一枚宛五関米補の御買上高 参加店 てま日十三月二十りよ日一月二十間期出資

客债券額面額(費出價格各半額)とし等外は本倉股行券加盟社・本景品一本の金額は自一等至六等は通州農業銀行股行権 多百圓 二本四等 多页 百百 圓圓 六本 等外十二 錢貳五壹 十百

雷模番號は一月十一月村本紙に競表致します 新京商店同業組合聯合會加盟店 商店同業組合 聯合會 4>11 (H)

聯合大賣出 吳服、蒲團、 特定開始日順 十二月

一日よ

洋服商は

和洋雜貨、 頁金屬商

菓子! 時計

日

食料雑貨商は 十二月二十

第四十一條 左の各號の一に 第四十一條 左の各號の一に 談書する者は千圓以下の副 金に建す 一、第五條第一項又は第九 條乃至第十三條の規定に 選反したる者 二、本法に依り銀行に備く 置くべき書類の備付若は 經濟部大臣に提出すべき 報道部別の提出を怠り又 能敬せず若は之に不實の 記載とする者 一、本法に定むる居出者は 一、本法に定むる居出者は で、本法に定むる居出者は 一、本法に定むる居出者は

配當年八分据置)を附編可決 「東京願通」日補アルミニューム會社では十四日午前九時 より大阪ビルで定時株主總會 ・ と明備、當期利益少處分案(

毛皮々革

型に對しては一人の車掌では 日本人運轉手に親切に の 間にあわないところから二人 れと云ふのか叉外人に ではないか、あまり君一人の ような智識階級の外人は バスと思つて闘タクでも停め には乗りませんわ又から ます、君の憤慨は何を思つて ります、日本人の劇場の ます、君の憤慨は何を思つて ります、日本人の劇場の かことかわからない、多分カ を君は知つて居るのが、あとのことが思ふ、君も日本 分の順の來のをまつて出ないよ あとのことが思ふ、君も日本 分の順の來のをまつて出ないよ からば少しく考へたまへ、 きますよ、あまり頭から、 選ちやんとは昔の言葉だ、現 おくれの運ちやんまやり

新事業計畫成る 增資規模擴張決定

産業部から表彰

樹安東省で計畫 は株主配當率は年一割二分

株東主邦 急合かパルプ

き割水温

を業部では農業五ヶ年計量の 進行を促進するため各般の動 進行を促進するため各般の動 と、放射の向上には專 のでその一策として今年より 全國の模範農家の表彰を行ふ こと、なり第一回の表彰を行ふ こと、なり第一回の表彰を行ふ 田を貸ささるときは直に證券無效の宣言を爲す お記證券の所持人は康徳六年七月十五日午前十時迄に當法院に権利 橋 五 年十二 月十日 康糖五年(黄)第一一九號

書の おお京 公 示區 示 法 院 申催

国出て私證券を提出すべく著し右項母盗に屈申立人 離 波 楽・治 上

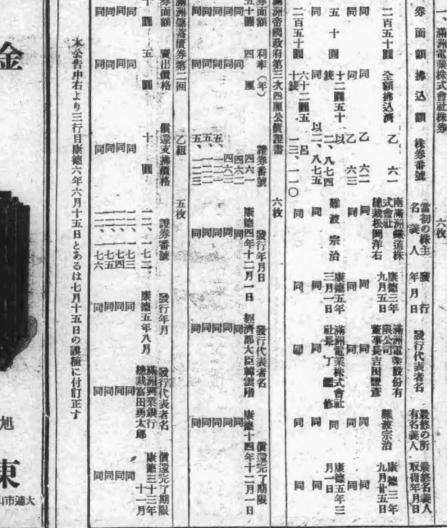






新京取引市况

手形交換員の思り



にて開催、たの諸件を附職決 四定時株主總會は廿四日午後 1年より大連取引所會議室





ラ

宇治茶で世帶道具の店 新京三笠町日本橋通り角 第(の)三口の問







し出賣大恩謝會協店商付債公國愛が行洋江近 し出賣大恩謝會協店商付債公國愛が行洋江近



鐵道築港其

制度の思考 ATTE. TAAL (3)

豊





本劑の突撃療法

外國に於ける斯界專門家二十四氏の'最近の 報告を綜合すれば 服用者總數一五七四名中 全治者—三三人人即585% 残り二三六人 中一五七人即号10%は全治セデ 解除の入 〇名即十万%は木明と云ふ結果を示して居る 虚が最近本邦に於て新に登見されたる 本畑 の実際療法に依れば 者全患の95%迄を 完全に治癒し得ることが確認された。

淋疾療法の世界的發見! 現代醫學の勝利・完治者續曲!

治淋特効剤 a-u-サイドは 現代治療界に於ける サルバルサン (六〇六號) に次く 最大發見として 今や全世界醫學界化 文字通りの 登異的存在となった。

G-U-サイドは 従來の治淋薬とは 根本的に異る化學的作用に依 って 淋菌に對する强烈比類なき殺滅力を有し 一日五一六錠宛 二 一三日内服のみで 止膿止痛の驚異的効果が現れ その完治率は 全 患者の95%に上ることが 各醫科大學泌尿科教授等の實驗報告に發表 された。

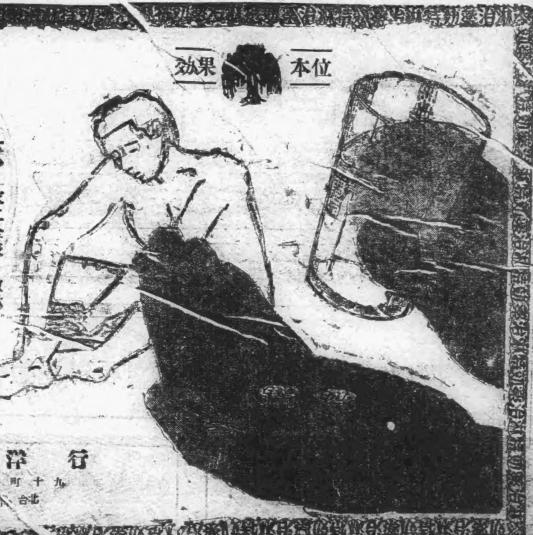
殊に本邦に發賣されてから 僅か一年足らずして 完治者は無慮數 萬 本劑に依つて始めて 淋疾に對する化學療法が完成され今や治淋 界に 一大變革が齎らされる樣になった。

新治淋特効成分発見



本剤が從来に見ざる 治剤特効療として 昨年欧米各哲 學誌に發表された後 本邦に於いて試験發賣されてから 未だ一年にもなら内のに 完治者数点を出して 誰もそ の効力に對し疑はぬ今日 相似たる廣告文 楽名等を以 つて 治淋特効薬とする複造品が 必ず出来るでせふか ら、十分注意し、侵戒なさる様お願ひします。

(全國有名葉島販賣) 大湖市赣河町十九 京城、上海、天水、合北



とう考へた、そして笑つた。▼先 して美で自分の してあた、それは うることが出来た の名の督軍が東南 た時には、彼は

はつ

一まだ遺照が足らん。 でくれと言ふのにも構はず、 でくれと言ふのにも構はず、 でくれと言ふのにも構はず、 でで、本屋に騙け付け寛賞を を割さ、棚で傍に貼つた。 を思つてある時、細君が掃除をして美り寄って乗り寄って乗た。 でもして走り寄って乗た。 でもしたんです、掃除をして笑った。 さら言って壁の方に引って。 さら言って壁の方に引って。 さら言って壁の方に引って。 さら言ってをの方に引って。 さりまれてるなんて。

備洲文學のため

E

船津正壽

の待望

にだん人軍のでて

◆ **七、五** ○ (大連) 朝の音樂 ・ 八、一〇= ユース ・ 八、一〇= ユース ふ 0 番 組 廿一八 七街M 日京中 火坡。 日蜀 Y

五間 類三三一〇 大玉四三二一 二日象〇〇〇〇三 二日象〇〇〇〇三 第十四天春旅

南 れ山 京三 の田 だ界 歌楽佐よ

○ 三五 (天油) 家庭メモー、五九 (東京) 解演市況
一、五九 (東京) 解演市況
一、五九 (東京) 解演市況
※ (東京) 解演市況
※ (東京) 解演市況
※ (東京) 解演市況
※ (東京) 解源市況
※ (東京) 解源
※ (東京) 和源
※ (東京)

六、二五趣味講演 國都の歳 末に俳味を探る 七、〇〇(東京)三木 朱城 三本 朱城 一 「東京」 國民歌謠 合唱 アンサンブル・シ 同 入 入 夜 ◆ 大、○○(本天) 子供の時間 ・ 養勇縣長 ・ 山田 健二 ・ 山田 健二

一、指揮 高田 (後藤) 高作曲(後藤)

八、三〇(東京)ラデオ時局 瀬本 八、回〇(東京)ラデオ時局 神界の檜舞台に立つ日本 法砂博士 芦田 均 小説一第一夜」 連織ラデオカラ虫の卷 類 帆一原作 類 帆一原作 古賀政男作曲(後藤) 古賀政男作曲(後藤)

た満洲で――それが過渡期に 危なつかしいつなわたりを步 いてゐる秋にあたつて、満洲 の土に根ざした文學への待望 を怒號し、叱咤したところで も渇望の息をふきかけたいの は人の常であつた―。 然し乍ら大連の所習声文

要を明んだもの(東京市総の大型を明んだもの(東京市総は何を別等のが正の諸項に分を明んだもの(東京市総は何を別が、日本主義精神の强調とが、日本主義精神の强調とのは、日本主義精神の强調となる。

検集生先をさま都加 人ムバルア選美 きつ集詩雅漫

○金融合作社管内經濟事情 「本金融合作社管内經濟事情 「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事情 「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管内經濟事」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」「本金融合作社管」」「本金融合作社管」「本金融合作社管」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」」「本金融合作性管」」」」「本金融合作性管」」」「本金融合作性管」」」」」「本金融合作性管」」」」「本金融合作性管」」」」」「本金融合作性一工会」」」」」「本金融合作性一工会」」」」」」」「本金融合作性一工会」」」」」」「本金融合作性一工会」」」」」」「本金融合

毎月二枚宛六

が脆弱すぎは世ぬか。 が脆弱すぎは世ぬか。

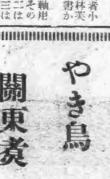
也性概刊介 分片日本 は會式●に持郎竹夢●れをあへの諸異だ。●とらに後後興味が別して間と田田であるとは君う。「日本の一般というがの人を語る。」は、「日本の一般というが、人を語るとは、「日本の一般というでは、「日本の一般というでは、「日本の一般というでは、「日本の一般というできません」というできません。「日本の一般というできません」というできません。「日本の一般というできません。「日本の一般というできません」というできません。「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。」「日本の一般というでは、「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。」「日本の一般というできません。」「日本の一般には、「日本の一の一般には、「日本の一の一般には、「日本の一般には、「日本の一般には、「日本の一般には、「

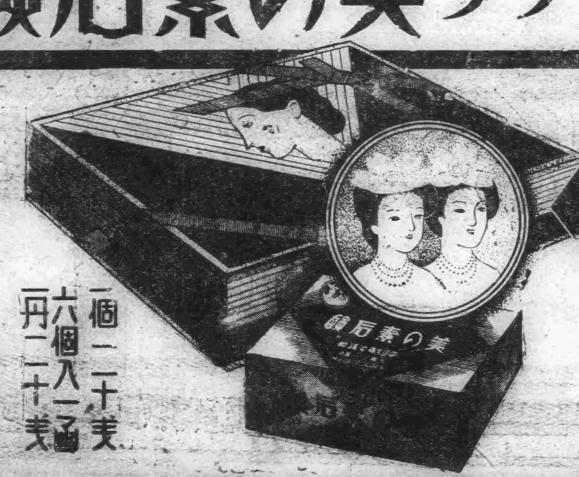
ニヶ月の旅の知詞を我物類で 東日その他の新聞に設表する のを認識不足も甚だしい等と あるものを臓がせたナンセン あるものを臓がせたナンセン ス年らも、相變らず満洲在住 の人による作品にこれといふ 俱樂部

同じた文化学では では、 では、 では、 でできた。 でできた。 でできた。 でできた。 でできた。 でできた。 でできた。 でできた。 ででは、 でできた。 ででは、 でできた。 ででは、 ででは、



で配●「雄辯」 亡り出しを示し







ふつくと又言つて 中想ふに、女には何 根をかよめて地を掃 している。 はせん!ところで細 をから、片手で精

作いわれ、だ

○『新潮』十二月號)

格上

同人の中にも、吾等 等致の綱やかた替き を持ち過分に將來性 得るし『滿洲浪漫』

て しなかつた、彼は言つた。
て しなかつた、彼は言つた。
で 一ちん、ちん、なあにわれら
の の聯帥が一度出兵したら、何
。 とさばないさ、あの会妻共産
ん の暴徒どもに何が出来るもの
だ か。 腹いつば

委員がやて實際わ

に やがてその職師が K 省で版 北しもう見込みがないといふ ことが判つた。そこで「あの と 時はあの時今は今」だつた。 と 時はあの時今は今」だつた。 で彼は早速陳君を同志にした。 それではは早速陳君を同志にした。 で彼は早速陳君を同志にした。 で彼は早速陳君を同志にした。 で彼は早速陳君を同志にした。 こまってるなかつた、 同志陳君 の所がら出て來ると彼はもう こまで三民主義の本を一勝 これを指々しく自分の机に置いた。 書だ得 に本屋で三民主義の本を一勝 これを指々しく自分の机に置いた。 書だ得 た。 下先生は頭を上げて彼女の方を眺めた、離には出さず。 司衰さうだと想つてゐた、委員夫人になつたらさぞかし怨むちゃらう。もと(▼先生はまだ桃の上の「三民主義」 対つてゐた、革命になりや委員になるんだ。委員になるんだ。委員になったが、よく 4 A格といふのは、最上等の輸出用生系なのだそうである。或る工場ではじめてそれをつくり出した優秀な女工の話である。

登しい育ちで無智だがおとなもい善良な彼女が其處に出たとき、彼女は工場長に誘惑されてした愛人があつた。だが東京で博覽會があつて選ばれてした愛人があつた。だが東京で博覽會があつて選ばれてたずらとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得らとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得らとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得らとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得らとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得ったとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得ったとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得ったとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得ったとするが、そこで工場長に見出される。彼から金を得ったとするが、そこの違いないのに触ば出生系なのだそうである。とれないのに関さな、作者のこの主人公の心理に對しての姿が込みの足りなされたである。といいない。

と考へた。と考へた。
と考へた。
と考へた。
と考へた。
と考へた。

た。
の教行委員が選ばれたが平先
な筋つた。大倉の選撃で七人
で三民主義、遺照、對聯、み生する人がようん候補が!それも好いやしたんだ。わしには長續きせてれたが入生生の無い無掛見たがおく割つてあた。は記述が、その無には紅いマークが吊るされた。からには紅いマークが吊るされた。ションソンは彼に向つて繰り、大ちゃないですか?
には紅いマークが吊るされた。ションソンは彼に向つて繰りると、はないマークが吊るされた。ションソンは彼に向つて繰りると、はないですか?
ことで彼は威張つて人の前でり返し詫びを言つた、幸ひ兇 一一委員ぢやて實際わしや にしいよ、至く忙しいよ! 忽ち、獨立した省長が敗北 し、北軍が又Y縣を占領した 七人の執行委員の中には陳君 もゐたが、みな逃走した。Y 先生は心中ひそかに喜んだ。



保険2 ・一七〇一番 解除2 ・一七〇一番

信息士 知識古道 情な大和通り

本院 新京 慈 光 路 第 3 · 二 一 二 〇六晋

(人院随意往診廳背) 日本橋署 使局前

内科

專小兒科

花蜡南

柳人船

构两人

蜡蜜

豊農

地震院

野齒科醫院

K

长禾

新京電 4 會計裏通 醫學時士 三 井 心 體②BAAA五字

安徽 八郎 福度 東京・五三九七番 東京・五三九七番

電2 • 二六〇七雷

電③・一三二〇香

登覧三十三七三二番 (日瀬百貨店)階)

曹 田島等于

应

都醫

院

満

國通信

社报

欄

版S・三九〇二番 領域和院東門前

医學博士 市 橋 頁 三

管土町二丁目體 3二六〇六番

折島院

差陰院

ーダンイラグ製電立日

院 最 河班五百里

(祖念公育党和)

內科、

小兒科

内科·小兒科·籃科

所 科 《雅密》 作物系列 《明宝》

党法

產業路公設市場入口

書院

知識料

発膜

松震院

八島山 電 五一大六六八 八島山 電 五一大三番

《名古屋ホテル前》

最近3·三二九六季

人院 明日瀬二十一番地 人院 明日瀬二十一番地

教京集智路一〇八

電2. 四八六九香

应简· 作病料· 與科

科

肛門 病 科 本要太郎 原 満 科 本要太郎 原 満 科 科 本要太郎

決国医

ペントゲン設備

£.

日日日

胃 等 接 筋 料

體入 實際

店

おてれてい

三谷縣

早

川醫院

院長 醫學士 上山瀬大

大院随意・徒拳題情コ 気な神社ノスダ的 メニョイ

外性皮

專科病灣

小児科

植医院

疾 研京永樂町ニ」 椎 電3 •四七四三番 外產婦性人 沖津震 新京室町二ノー三新京室町二ノー三

MR 22 21-随人 意院

春

東京 1000

花 柳 树 树 新 築 落

Bu

表他

九ス

電3・一大〇五番 へ約半丁 へ約半丁 児科

廚院

電3 · 五二四三

崇智胡同二〇

機能産業 松元千代 終経意 電3・五七〇九番 大院住 電3・五七〇九番

肥後医院

鈴木疾院

丸重洋行士

非 醫院 レントゲン科

面

林科

久 仁惠院

小外科 外醫 化碳基子水外 经 科 高長 肥後基子

紹進人科科

病睾完體

通關代連

引越荷作物

業

人

院

髓

時

魔器代表®五九一一 類安大路朝頭衛的 小兒科專門

蹇 電話の・二五二〇番 銀光子 時 院長 中島信之

外産場が分科学

小内 見 科科 リマス)

医院

隨人 意院 電 R · 三八三九

大回後取扱店 國都代

太里医院

小兒科專門 0.

銃後の貯蓄は

型の御用は 発動信用の出來る店 発動信用の出來る店 校商八前店番

BR. 早 医股

本 毎日の! 保稅③五四 お火 本 二十日丁二內ノ夫區町幾市京東 所業營連大

(ルビ 拓東) 二リ酒願山 市連大 (3)—九—三(長) 表代 所張出京新 (階一ルビ拓東) 四六八一(長)(2)局本京新話電 所張出天奉 (開西ルビ州三)二町茂加天津 三四八二(長)過失中天軍話電

余は美味しい大石のお茶の茶 世話三十六四二七番

新京富士町四丁二 六 一 電話③1 四四七月 支 番 indicate elected

祭養保健菓子



ルトーモ立日相三

ルトーモ立日根軍

玉 ① 经 店理代 48 和瓦區東歐大・橋本日京東

藥價源和 **裂痔** 心境れるが新 脱肛 胸壁をなる 持枝 明州の内外将 在持 加州山大 **痔瘻糶纜。痔出血**

弊震は不治の解などと

す。能ち内療核と云つて 内療とは、肛門内部に これが増悪して、疣のほとれが増悪して、疣を作るもの、 川門内部の開門はでき の時に脱出して元へ民 東共産の展開が想。

らし、病菌を殺し、鬱血を去 見えて症狀を輕快させます 3. つて潰瘍面を收縮し、 小松痔の薬はちを治す薬で 痛みを止め、 腫れを散

たものと機構です。これから、樹木 たものと機構です。これから、樹木

星太后陛下

客が長春縣公署前で下車して 軍用路滅出所から上司へ善頃大經路と朝日通角で乘せた て二十餘闘を丕に奥へたが、四)は去る二十四ロ午前九時 渡しを了し郷氏から謝禮と答馬車廿七號の馭者王恩(二)用氏から周出があり無難に

中国 大学 は 大田宮内省から酸表された 大田宮内省から酸表された 大田宮内省から酸表された 大田宮内省から酸表された

仰付らる韓國長に拜謁

封を御下賜

通信行政移譲による

集めたかの

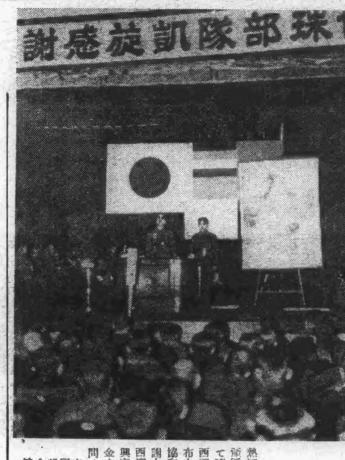
(日 曜 火)

金したが、結果現在のないでは二十五日淨月潭の山に二十五日淨月潭の山に二十五日淨月潭の山に二十五日淨月潭の山に三十五日淨月潭の山に三十五日が大田では一日では一日では一日では一日では一日では一日では一日では

四の 月二日、三日には經驗者のた 後、暫くして風呂敷包の遺留として、
の山 を運行することになつた、
の山 を運行することになった、
の は
の へる積雪状態ともなれば難々
を は
の へる積雪状態ともなれば難々
を は
の へる積雪状態ともなれば難々
を は
の には
 正
直 正
 正
直 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 正
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日

たて天機率何の記帳をなし、 正し宮中に参進、東御車寄に 正し宮中に参進、東御車寄に

使を訪問挨拶をなし、それよ カ溥傑上尉、阮大使を混へ和 かな午餐會を共にした。午後 は近衛首相を始め關係方面を 歴訪挨拶を述べた



珠部隊長以下

于首都本部長の後離で「大日り驟鬭經過報告あり、最後に

我儘

娘家出

森重前拓政司長

めた、次で後藤参謀長よ

に従ひ炎暑を買し五 日の指揮下に在りて 日の指揮下に在りて 日の指揮下に在りて

が幸ひ大捷を博しことと

艦娘行方不明とな

彼女は

何を覺えたか

同町商店使用の荷車以外は 馬車の交通を禁止

はい状態、この混雑を利用してい、無関いの商店へ選ぶ大きい。 場換も出るといふので中央通 をでは歳不整戒をこゝにも延 をでは歳不整戒をこゝにも延 がら七時まで吉野町の車馬交 がら七時まで吉野町の車馬交 がら七時まで吉野町の車馬交 る為を謝つて下さいと言っが、すべての人々が樂に正 が、すべての人々が樂に正月 なが、すべての人々が樂に正月 なが重い帯物を持つて街の端 まで出るのは少々不便だらう して特機してゐる 保安係では交通事務員を選拔

一月七日創立總會を開き 「滿洲防空飛行協會」の新名 「不明知はいよく」具體化し 明年一月七日創立總會を開き 「不明知な一月七日創立總會を開き 「不明知な一月七日創立總會を開き

金書委員會為替委員會は北六

初心者には無理

賴むは今後の積雪狀況如何

第月次ス下検 分報告

天機奉伺の記帳

國使節團一行

期待は

協會合併

日午後四時より関務院會議室 六十七社よりの申告に基づき 明年度所要為替額につき臨時 につき詳細検討を行ひこれが 具體的配分計畫を協議午後五

第一線警察官の 事務簡捷化圖 樹て晴れの凱旋をなした甘珠 で居所が親 塗匪軍討伐に赫々たる武勳を 悲しさ、親 悲しさ、親 より感謝状

先づ統計事務を改正

大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

「大の全面的改正を加へ来る一月

約國 門松飾を節 防献金

二十六日午 松原清文郎 で内南新京 して加納委 南新京料亭組合 合せの上、時局柄迎 の上、時局柄迎 の上、時局柄迎

明山百貨店主創田伊機氏は暫 なりましたと感謝の意を表し 金四百圓を國防婦人會新京支 部へ支部事業資金の一端とし て寄附した 實山、國婦へ寄附

客は雑沓

皮青少年義勇軍の成績

る水田の經營及については各物

あげてゐる、 のければ左の通りである。計量を了した主

6

② 五 〇

北四の風晴

いやほんの一寸の間でしたとに放置してゐる奴に限つて、 想の日くっ 縁程物を

つて「は大豆、小麥、燕麥、薔麥

刑事と解の要所々々

正 札 七日出 p,

三割引奉仕



何卒御來店御利用の程を

本年も一方ならぬ御愛顧に預り厚く御禮申上げ

以て特に年末年始の必需品を厳撰致しまして御 提供申上ます



行方捜査方を中央通署へ手程を繋だが心配ですと二十六日を繋だが心配ですと二十六日 消息不明に親の所で

お幕歳には

きの

ふ盛大に擧行

の国活映での御校成と を関うしならしめる を関うしならしめる を関うしたものの を関うしたものの を関うした。 を関うしたものの を関うした。 を関する。 を関うした。 を関する。 を関うした。 を関する。 を関うした。 をした。 を

電力を深謝したの如 で官は甘珠部脈の関

後二時開東

0

の家は臀師ですが今に私がカ の家は臀師ですが今に私がカ 海流の 一次で、二十六日退官挨 を表示を表示。二十六日退官挨 を表示を表示。二十六日退官挨 を表示を表示。二十六日退官挨 を表示を表示。二十六日退官挨 を表示を表示。二十六日退官挨 何久津主事東上 あす離京

日東上、明年一月十日頃歸任本中央と打合せのため二十八本中央と打合せのため二十八本中央と の豫定

本・大阪市住宮屋天下楽屋一 でか(十九)は派手な性質で家 さん(十九)は派手な性質で家 さん(十九)は派手な性質で家 で大会になったら儲かると の人の言を信じ去る九月五日 洋裁學院通學の絵次から家出 して來京、傳手をたよつて三 を町カフェーマスコットの女 総となったが、さて夫成年の 熱となったが、さて夫成年の

ロ カー 相違して大した金儲けにもない なが、さてなつて見たら案に たが、さてなつて見たら案に

難波電化理事 滿州 電気化學工業會社常務理事業 電気化學工業家との打合せのた 砂約一ヶ月の豫定をもつて廿 六日午後六時五十分級々のぞ みゅで出級した

員募集

たばかりに親の所へも歸れず

新京興安大路一二〇號

3

中央通署寄託

市立醫院市立醫院の 診察の求めに應ずる 但し念思

△鎌驤 (二七七〇名) 地味徳のて肥沃なるも耕地面積宴かて肥沃なるも耕地面積宴かに日菜の作柄良好にて充分自給自足可能

写き出させたものださらで、 年の門松飾の費用を節約して 中央通響に寄託され 行した △輸江(三九三八名)本年は 水害に災されて大豆、小婆 以外は不作 ○孫臭(一四三四名)水害の ため代用作物ホーレン草を 除き他の作物は不作

石。炭。

御◎注◎

に就て

の御通

御注文体

0

日本 事株式 會額買溜めせらるる樣の御懸念なく平日通り御注文下さる樣御願申上外まして其れ以外は平日通り就業致しますから例年の樣に前以ての例年年末年始は休業させて頂いて居りましたが本年は元旦一日だけ

年末年始における休診日は仕 九日、卅一日、元旦、三日の 四日間と決定した、但し急患 の場合は診察の求めに順する

京市內指定販賣人

行

行

日日

#@ | | t+

號 章 二七六0

電電電電電電 ② ③ ③ ③ ③ 五一二二五三〇五〇 七七一〇五三〇五〇 四六六九二八二二

列車は延

試

練

電②二四九八

第一販賣所數案洋行

電②五六六五

行

電③二二九七

11日日日

第二販賣所四馬路

ます

就きましては感謝大廉賣塲を特設致し三割引を

-(日 碇 火)

タ (と、間子院を踏む戦

る

いつの間に眺めたのか、

道の手紙が現はれた。

いま一調は

人は二階で、暫らく続についれば長七郎に英之職だつた。

桃に質は歌つて

いて急ぎ渡み下した長七郎。みる

主人が豆谷の命令を興御す、地

が観末観の虹の脱だし

ふるへる手先で、



(17)

どうして灯が消えたの ıſa (二百十六) 若說殿。 THE COLUMN 膝"

自分の投送の行題を提げて来て

中小商工金融

東省實業株式會社

硅在新 斯京特別市大同大街四〇六號

東拓ビル内(電空四九一七)

便迅速

白毛染の理 品一只水粉·套無生物 る主染で直てい溶で水

算加封进等外海・健士耳頭・他〇六・使〇回領定・部島養會高勢之間野宇・三町宇宙久宿匡東市夏大

40 to 3 付フスドーロビ・すで粉白色七ンダモたし形固に便至帶携を粉白ナコ子粒微極いし美のキツ すまめし楽が粧化去の刺淺力息はで感用使の



脇坂ビル(長春寺前)驟町四ノ一 の病性 を命用御

のむとすぐさく

技 術

優

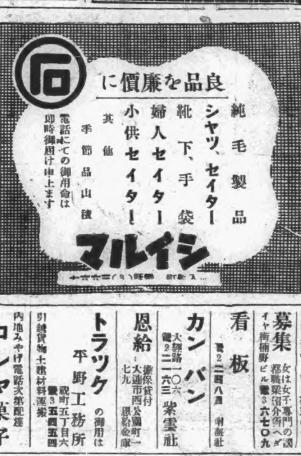
秀

三笠町二夕

=47

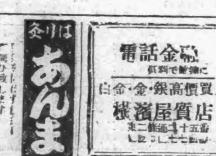
靴店







印刷或帳簿 三友社 大田の一里 10日間の 10日間の



安東、撫順、新京產 企 野瀬米店 家籍の六四六四

トラック 大和運輸公司 大和運輸公司 開業大力の八番 はまたれの八番

男女數名 新門門丁目立 心心堂

クン

電グ③

五十五十

長

鞄

店

マーOA五 自通信 が京東三馬路 自通信 Cana 結婚媒介部

散

内地名やけ電話次第配達

トラッケの御用は野野工務所である工具工具工 はゆつが

お茶道具はお茶道具は お茶で 今辨慶整骨院 一种慶整骨院 ほれつざ

三数町三八九

帳簿專門 海水系生 彩系。 最多11三0九 老松町五番地 化町五番地 加 加 戸語3六八九六

◆ 十行一回金一個金四十次 一回金八十次

カメラ修理

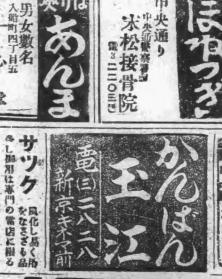


時・長期秘治金でお買入が出來まて

◇あんま特徴

湯水堂鍼灸院

領域性の百貨店 **荻本電話店**





タイピスト 新京新級所 海洲直蓋所 日本タイプ (京合教授 日本 (京会教授 日本 (京合教授 日本 (京合教授 日本 (京会教授



第賀直加 (分が、りや丸(月三回) (分月)ロー十一日 世) (分月)ロー十一日 世) (分月)ロー十一日 世) (本作数論・時 活作数論・時

タイプ印書

汽船一棚が、亳州羽、亳州羽 蝦賣所

5巻書う馬 6録林り製





